



診療放射線科
佐藤 友美子

今回は当院のX線撮影室の紹介をさせていただきます。

【X線撮影室の役割】

いわゆる「レントゲン写真」を撮影する検査室です。レントゲンは少しのX線を一瞬当てることにより、見たい部位の透過画像を得る検査です。患者様にダメージを与えることなく、簡便に検査ができ、かつ診断に必要な情報が多く得られます。胸部・腹部・骨・軟部組織など、全身のあらゆる部分の検査が可能です。



そのため画像検査が必要な場合はまずレントゲン検査を実施し、医師が必要と判断すればより高度・特殊な検査（CTやMRIなど）を行うことが多いです。

また少しのX線で簡便に行えるので、経過を観察したい場合にもよく実施されます。

【フィルムレス】

フィルムレスとは、レントゲン写真をフィルムに焼かずに、デジタルデータとして診察室などに設置したモニターに表示するシステムのことです。

当院では数年前より順次フィルムレス化を進め、現在ではほぼすべてフィルムレスで運用しています。これにより撮影後に患者様にフィルムをお持ちいただくことなくともよくなりました。また過去の画像の検索も簡単・迅速に行えたり、医師が見やすいように拡大縮小等も自在にできるようになりました。



【新しい装置を導入】

今年4月に以下の最新式装置を導入しました。

- ・診断用X線装置「RADspeed Pro」（島津製作所）

X線を出す装置です。操作性が上がり、撮影しやすくなりました。これにより検査時間・待ち時間を短くすることができました。



- ・間接変換FPD装置「CALNEO Smart」（富士フィルムメディカル）

X線を検出する装置で、従来のフィルムの役割を果たします。従来のシステムより効率的にX線を検出できるため、より少ないX線で検査が可能です。また検出したX線をすばやくデジタルデータに変換し表示できます。そのため撮影した画像がすばやく確認でき、こちらも検査時間・待ち時間の短縮につながりました。



※FPD→Flat Panel Detector (平面型検出器)

今回新しくなったのはX線撮影室の一部ですが、今後も順次更新していく予定です。検査でわからないことがありましたら、検査担当者までお気軽にお訊ねください。